

## 山形県鶴岡市

## 課題

- ① 新たな体験型観光メニューの開発・提供によるさらなる誘客
- ② 体験型観光と結びついた継続性ある直売活動による農林業収入の増加等
- ③ 月山あさひ博物村（文化創造館）の拠点化・機能改善
- ④ 森林文化都市構想関連事業への市民の参加促進に向けた拠点づくり



## 調査事業の概要

- ① 六十里越街道事業（トレッキングイベント）について、展示、研修、インフォメーション、ガイド配置、バス発着所機能等、新たなメニューの調査研究や実証試験を実施
- ② 農林業の活性化や特産品である山ぶどうの消費拡大を目指し、地元直売団体による直売活動を実施
- ③ 六十里越街道や森林文化都市構想を軸とし、地域内各組織団体の活動拠点としての文化創造館の位置づけを検討
- ④ 地域の主体性や活力を引き出すために、地域内各組織団体及び行政による協議会を組織して研究協議と研修活動を展開
- ⑤ 森林文化都市構想に関わる情報提供、各種事業の案内・相談・受付機能の整備を図り、総合調整や案内を行う拠点づくりを調査研究



## 実現を目指していく地域のイメージ

- ① 歴史や文化資産、自然資源を活用しての体験型観光のさらなる充実
- ② 森の恵み「農産物・林産物」の生産・加工・販売をとおした農林業の振興
- ③ 森林体験や交流活動等の推進を図るための森林文化都市構想の拠点化

## 対応策の提示

## ＜これまでのノウハウ、対応策＞

- ① 六十里越街道事業の牽引役である民間団体の主体的な活動、観光事業者主催事業の展開、地元商工会による新たな企画料理、地域住民による単発的な街道まつりや直売活動等について注目を浴びる。
- ② 森林文化都市構想関連事業としての自然体験交流事業や森林環境教育事業など、組織団体ごとの事業に、参加者数の増加など一定の成果を収めた。

## ＜調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策＞

- ① 六十里越街道事業について、参加者の理解深化・交流とガイドのスキルアップが図られ、二次交通確保のための試験により新たな定期交通運行の可能性を見出した。
- ② 「森の恵み」直売については、販売と需要動向調査等も併せて実施する中から、課題（品目・数量・時期・時間帯等）を明らかにすることができた。
- ③ 文化創造館については、六十里越街道・森林文化都市関連事業展開の場、各組織団体等の活動拠点としての可能性と、観光インフォメーション機能を持つ施設としての新たな役割を見出すことができた。
- ④ 地域の主体性や活力を引き出す方策として官民一体の研究協議会を初めて組織し、調査、実験、研修活動等を行うなか、連携と協働のあり方を検討することができた。
- ⑤ 森林文化都市構想については、資料展示等を通し、市民理解を深めることができた。また、事業案内・相談・受付機能等については、組織・団体間が緊密に連携することの必要性や可能性について協議し、確認することができた。

## ＜今回の調査により得られた新たな課題＞

調査研究期間が豪雪期を含む短期間であったことや、調査研究の成果を今後引き継ぎ前進させていくため、六十里越街道事業や体験型観光、農林業振興、森林文化都市関連施策を総合的に調査研究する機関の設立が検討された。